

認知症地域支援推進員の 活動の実際

新潟県柏崎市

医療法人立川メディカルセンター柏崎厚生病院 医療相談室
ソーシャルワーカー(精神保健福祉士・社会福祉士)
柏崎市認知症地域支援推進員 西川弘美

本日の話

- 行政担当課と認知症地域支援推進員との連携、協働について
- 活動事例報告

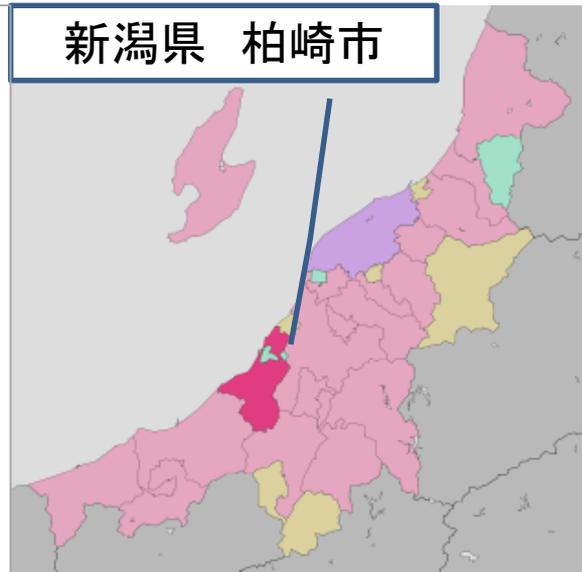


面積: 442.7km²

新潟県 柏崎市

特色:

海、山、花火
農業、工業、
原子力発電所
中越大震災
中越沖地震
水害、雪害
米、酒、魚、果物



えちゴン



柏崎市の基本情報 (H29. 3. 31現在)

人 口	85, 776人
65歳以上人口	27, 422人
高齢化率	32. 0%
総世帯数(高齢者世帯数)	34, 758(7, 785)
要介護・要支援認定者	5, 635人
認知症日常生活自立度Ⅱ以上	3, 708人
地域包括支援センター	5圏域 7ヶ所 (全て委託で基幹型なし)
認知症地域支援推進員	1名(2名で兼務、委託)

【柏崎市第6期介護保険事業計画】

高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って、安心して暮らせる地域社会の実現
～地域包括ケアシステムの構築を目指して～

介護予防を重視した 健康づくり環境の整備

介護予防事業の充実

生きがい活動と社会活動
への参加の促進

健康づくり・生活習慣病
予防の推進

健康管理の支援

高齢者が安心して 自立した生活が できる地域づくり

地域ケア会議の推進

新しい総合事業の構築

生活支援の担い手の育成

安心して生活できる
住まいの整備

介護が必要な状態になっ ても在宅で生活できる 支援体制の整備

認知症施策の推進

介護人材の確保と質の
向上

在宅医療・介護連携の推進

介護サービスの充実

市民による自助・互助の意識を高めつつ、各施策それぞれが関わりを
持ちながら、地域包括ケアシステムを構築していく

柏崎市高齢者保健福祉計画

第6期(H27～29年度)介護保険事業計画

認知症施策の方針

- ① 認知症高齢者と家族の支援
- ② 地域における認知症の見守り体制の構築
- ③ 認知症高齢者等の権利擁護
- ④ 認知症予防及び進行予防の取り組み
- ⑤ 認知症ケアにおける医療・介護の連携、
介護従事者の対応力向上
- ⑥ 若年性認知症対策への取り組み

柏崎市認知症地域支援推進員の

役割と主な取り組み(H29年度)

医療・介護・関係機関の
連携を図る取り組み

- ・認知症ケアパスの普及、啓発
- ・個別支援
- ・初期集中支援チームへの協力
- ・オレンジカフェ、あすなろの会支援

認知症の人や家族への
支援体制構築

- ・認知症キャラバンメイト活動支援
- ・認知症サポーター養成講座の実施
- ・認知症サポーターリーダー育成研修

病院、介護保険施設、
地域密着型事業所職員
への研修

- ・医療介護従事者との事例検討会、
多職種協働研修等
- ・地域密着型事業所の支援
- ・他、認知症関連の会議、生活支援
コーディネーター協議体への参加等

柏崎厚生病院の認知症関連機能

認知症治療病棟
(50床×2病棟)

認知症地域支援推進員

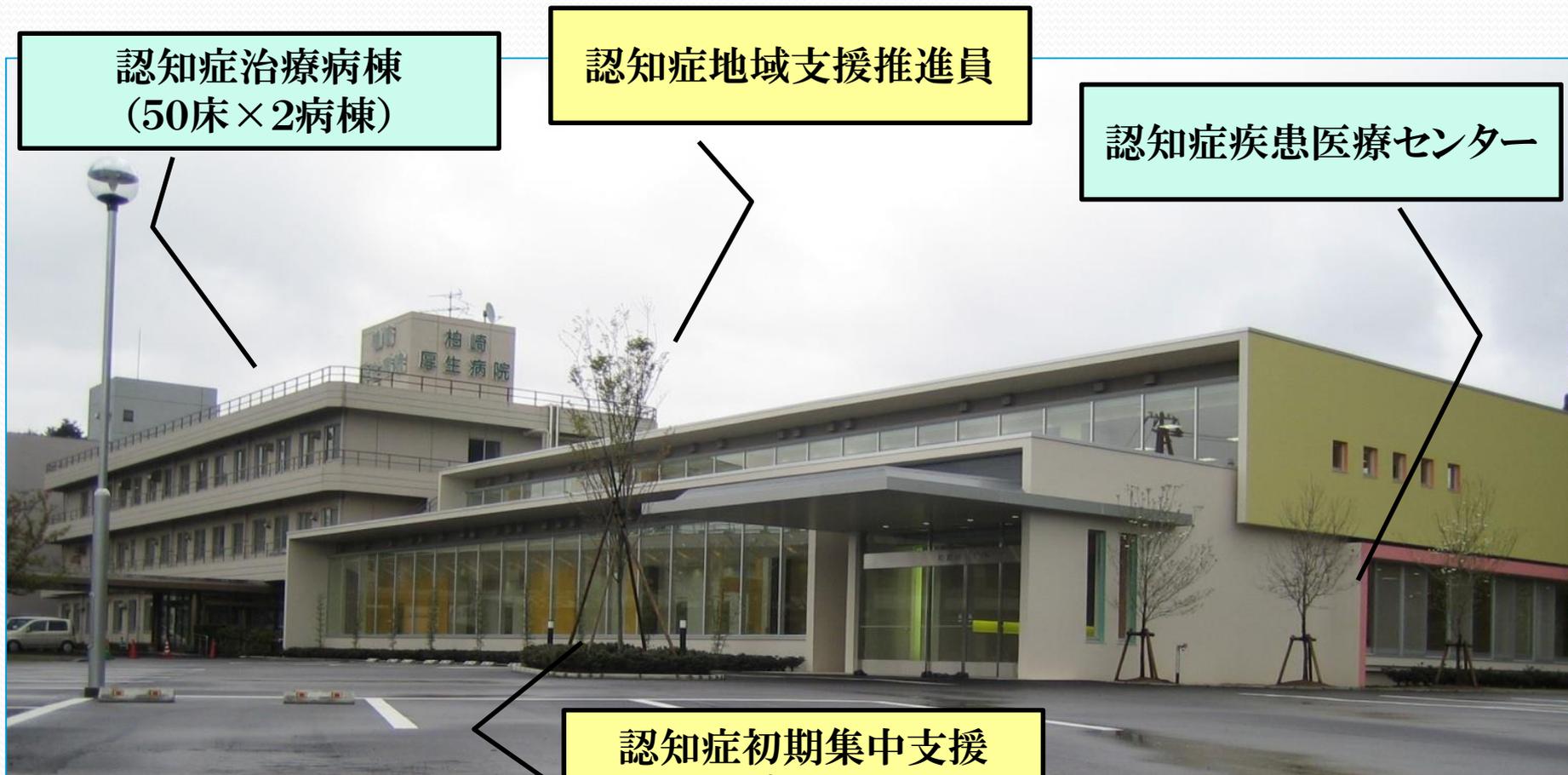
認知症疾患医療センター

認知症初期集中支援
チーム

介護老人保健施設
米山爽風苑

柏崎市東地域包括支援センター

認知症グループホーム
米山五楽庵



柏崎市認知症地域支援推進員の体制の経過

H22
年度

- 認知症対策連携強化事業 認知症連携担当者
- 市から委託され、柏崎市東地域包括支援センターに1名配置
- 個別支援中心 (行政や包括支Cからの困難事例相談対応)

H23
年度

- 認知症施策総合推進事業 認知症地域支援推進員
- 地域体制作りへシフト変換

私がこの頃、悩んでいたこと

- 市の動き(施策・高齢者支援の全体像)がわからない
- 担当課の動きがわからない
- 地域の情報(データ・資源)を知らない
- 地域作りのやり方がわからない
- 市の求めるPDCAサイクルのやり方がわからない
- 地域包括支援センターの役割や活動を知らない
- 会議の進め方(ファシリテーション技法)が我流だった
- 配置されたセンターが郊外のため、効率的に動けない
- 一人体制では業務量が多く、すぐに相談できる人もいない
- 国の研修に行くと・・・愕然とする

気が付いたこと

	市	私
医療介護連携 個別支援	困難な 部分がある	得意
地域作り	専門	不得意

・・・なので、どうしたか 

相互補完と協働

～お互いが持っている知識・技術を活かすことに着目して連携する～

行政・包括支C

- 施策に関するデータの活用
- 社会資源、地域特性の把握(地区診断)
- 人的資源のつながり
- 地域作りのノウハウ
- 行政、関係機関との連携

認知症地域支援推進員 (当市の場合)

- 認知症や障害者支援のスキル
- 個別事例の蓄積
- 施設職員としての経験
- 認知症サポート医や自法人のバックアップ、医師会のネットワーク

市 担当職、包括支C職員と、定期的・積極的に連携をはかる。
→ 市や包括の動きを傍らで見聞きし、一緒に動くことで多くを学べた。

医療連携のPDCA

効果や課題を検証し、次の取組みに活かす

取組み	効果・課題
困難事例に対する包括 やケアマネ等とのチーム アプローチ	<ul style="list-style-type: none">• 高い専門技術により、解決へ向かうと共に、包括職員やケアマネのスキルアップにつながった。• 医療機関、支援者、事業所の認知症対応力に差がある。
医療介護連携ツール(もの 忘れ連絡シート)の作成 認知症多職種協働研修 出張事例検討会	<ul style="list-style-type: none">• 医療・介護従事者の認知症対応力・質の向上につながった。• 多職種協働によるネットワーク形成 <p><u>* 地域作りへつながった *</u></p>



医療連携

もの忘れ連絡シート

柏崎市ホームページより閲覧・ダウンロード可能

柏崎市・刈羽村 様式

平成 年 月 日

もの忘れ連絡シート（主治医←ケアマネジャー・地域包括支援センター職員連絡用）

<p>医療機関の名称</p> <p>電話番号</p> <p>FAX番号</p> <p>主治医</p>	<p>事業所の名称</p> <p>所在地</p> <p>電話番号</p> <p>FAX番号</p> <p>担当者</p>
--	--

◆利用者の情報

ふりがな	氏名	男・女	生年月日	M・T・S	年 月 日
要介護度	要介護1・2	要介護1・2・3・4・5	中働中	(海老根区～H)	年 月 日
利用サービス	<input type="checkbox"/> HH (週 回) <input type="checkbox"/> DS (週 回) <input type="checkbox"/> SS () <input type="checkbox"/> その他 ()				

◆ケアマネジャー・地域包括支援センター職員記載欄

本票送付の目的 重案 相談 参看まで

<内容>

<気になる症状> 年 月くらいから (主治医見書3の項目)

<input type="checkbox"/> 最近の出来事を忘れたり、同じ話を繰り返す	<input type="checkbox"/> 興奮して人を叩くことなどがある
<input type="checkbox"/> 判断力がよくなった	<input type="checkbox"/> 介護されることに対し強くなる
<input type="checkbox"/> 自分の意思を伝えにくくなった	<input type="checkbox"/> 興奮なく外へ出ようとする、道に迷うことがある
<input type="checkbox"/> ないものが現れたり、錯乱したりする	<input type="checkbox"/> 火の不始末がある
<input type="checkbox"/> 物や金を盗まれたり、損がらせをされたと言う	<input type="checkbox"/> 衛生的でない行為がある
<input type="checkbox"/> 昼と夜が逆になった生活をしている	<input type="checkbox"/> 食料ではない物を食べようとする
<input type="checkbox"/> 些細なことでも怒りやすい	<input type="checkbox"/> 性的に固る行動が見られる
<input type="checkbox"/> その他 ()	

契約時の同意のほか、改めてご本人、または、ご家族の承諾を得て送付いたします。

本シート送付について改めて承諾は得ていませんが、契約時の同意に基づき、支援に必要なので送付します。(特記事項:)

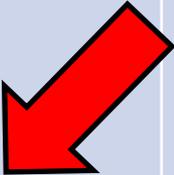
◆医療機関へ送付する場合にお願い下さい。

医療機関へ連絡(電話)ください ← 月 火 水 木 金 土の午前・午後 () 時頃

他

<連絡メモ欄>

地域支援のPDCA

取組み	効果・課題
<p>困難事例支援(包括やケアマネと協働)</p> <p>地域ケア会議・地域課題把握</p> 	<ul style="list-style-type: none">・家族支援の必要性を感じた・若年性認知症支援について具体策を講じる必要がある。・地域特性により、認知症者や介護家族支援のあり方が異なり、問題(課題)化する。・地域住民の認知症への理解と見守り体制が必要。
<p>若年性認知症の支援体制の整備</p> <p>若年性認知症者と家族の会“あすなろの会”</p> <p>オレンジ(認知症)カフェ</p> <p>認知症サポーター養成講座</p> <p>認知症サポートリーダー育成事業</p>	<ul style="list-style-type: none">・参加者の目的が勉強のみで、実際の活動につながりにくい。・地域の人材の掘り起こしができ、地域活動に反映できたところもあるが、拡がりや継続性に乏しい。 <p>*地域作りへつながった*</p>



認知症サポートリーダー研修

地域支援

若年性認知症の人と家族の会
あすなろの会



オレンジ(認知症)カフェ



上:旧写真館を改造したカフェ
介護者が開設



右:障害者就労支援事業所が
開設
夏は夜開催、絵本の読み
聞かせとジャズミニライブ



認知症ガイドブック

柏崎市ホームページより閲覧

・ダウンロード可能

H27年9月市内全戸配布

保存版
(平成27年度)

認知症 ガイドブック

～みんなで支え合い安心して暮らすために～



この「認知症ガイドブック」は、市民の皆さんに、認知症のことを正しく理解していただき、認知症の方やその家族が、住み慣れた地域での生活を安心して続けていけるよう、柏崎市の様々な介護サービスやその他の支援などの情報をまとめました。

また、職場や地域など、社会における認知症の方への対応についてもまとめています。
(既に配布してある「医療・介護ガイドブック」と一緒にご活用ください。)

- ①認知症の進行と主な症状・対応の例 ----- 2～3ページ
- ②認知症の進行に合わせたサービスや支援の例 ----- 4～5ページ
- ③認知症を予防するためには
- ④認知症の早期発見のためやす ----- 6ページ
- ⑤認知症ってどんな病気？
- ⑥認知症かな?と思ったら、まずは早期相談・早期受診を! ----- 7ページ
- ⑦認知症の方の安全と安心のために
(徘徊・消費者被害の防止・車の運転) ----- 8～9ページ
- ⑧サービスや支援の内容 ----- 10～11ページ
- ⑨相談窓口 ----- 12ページ

もくじ

柏崎市

(協力：認知症ケアパス作成検討会)

活動事例紹介

A地区の人材育成と小規模ホーム連携の取組み

A地区の認知症支援の状況

- A地区：人口1400人、高齢化率43.7%
- サロンなど集まる場はあるが、介護保険事業所は1事業所のみ。医療機関が地元にはない。
- 地域のつながりは濃い。若手と同居しているが、日中独居の世帯が多い。
- 認知症の早期相談、早期受診につながりにくい。
- 公的サービス利用に抵抗感がある。
- 包括支Cがコミュニティセンター福祉部や行政保健師と協働でH25年から重点的に認知症の啓発に取り組んで意識付けにはなったものの、人材育成にはつながらなかった。

地域密着型事業所との連携

- H24年 A地区内にできた認知症グループホームBと、個別事例支援で包括支C、認知症地域支援推進員が関わり、継続して個別事例や会議、職員研修等に関わる。
- H29年4月 同敷地内に小規模ホームCが併設された。ここで、地域貢献と地域に根付いた活動の一環として、オレンジカフェを開く計画がでた。
- コミセン、事業所、包括支C、推進員、市と協議の上、A地区のサポートリーダー研修をオレンジカフェのボランティア育成とコラボレーションさせ、開催することになった。

認知症サポーター研修の主な内容

第1回(8月)	第2回(9月)	第3回(10月)
市の高齢者の状況と施策説明	(地域ケア会議として開催)	オレンジカフェの紹介
認知症サポーター養成講座	地区の現状と課題	他のオレンジカフェ実施者から取り組み紹介
施設の紹介	介護保険制度説明	ボランティア活動説明
グループワーク	グループワーク	グループワーク
会場:コミセン	会場:コミセン	会場:地域密着型事業所

参加者:20名(健康や福祉に興味があり、地域から信頼されている方を地域から選出頂き、包括が声かけをした。60歳代が中心。)

オレンジカフェ初回は10月下旬開催

医療介護連携～地域支援 取り組みの相乗効果

包括支Cと推進員の日常の医療介護連携の取り組みと地域支援が結実した。
地域住民、事業所、包括支C、推進員、市、みんなWIN-WIN!

医療介護連携
(個別支援・事例検討)

地域ケア
会議

- ・地域住民の認知症の知識向上
- ・地域包括ケアシステムの意識向上

認知症サポート
リーダー育成研修

- ・ボランティア活動を通じた住民の健康推進と生きがい作り
- ・住民参加型による地域連携促進
- ・地域貢献

効果的な
人材育成

- ・事業所職員の対応力向上

事業所職員向け
資質向上研修

オレンジカフェ

- ・地域貢献の意識醸成

当市の推進員において 残されている課題と対策・展望

課題	対策・展望
<ul style="list-style-type: none">・地域作り・人材育成の地域格差・事業所の取組み（意識）の差	<p>包括支Cと連携し、地域ケア会議での課題把握とモニタリングの継続</p> <p>→<u>地区毎</u>の認知症支援のあり方を模索する・・・包括支Cなしではありえない話</p>
市役所担当課、 自法人の後継者作り	<ul style="list-style-type: none">・H29年度～1人体制→兼務の2人体制配置場所を病院へ異動・自法人としては、後継者作りの過程で法人内の人材育成や法人への還元が可能となる・市の担当者とのバランスを考慮したいが、委託ゆえの課題は残る。



ソバの花言葉: 喜びも悲しみも、懐かしい思い出、あなたを救う

みなさんに大切にしていただけたら、と思うこと

目の前の1人の人を大切に。

(認知症の人、介護家族、講座や研修の参加者、一緒に仕事をする仲間、自分の家族)

学びつづけよう。地域・人とつながろう。

一人でやら(せ)ない、抱え込ま(せ)ない。

柔軟な考えで、わが特色を伸ばす。

何一つ無駄なことではなく、種を植えて水をやれば、
花開く時が来る。

大事なあなたの心と体を大切に

ラン伴(RUNNING TOMORROW)



ご清聴
ありがとうございました

